



部会の窓 第3回近現代部会を開催しました

7月17日(土)第3回近現代部会を開催しました。今回は、資料編のおおまかな編目構成とその執筆担当、そして資料編の体裁などについて協議を行いました。体裁に関しては、「統計資料は別刷りにするよりも、体裁を変えて資料編にまとめるほうがよい」「古地図は、データをDVDに入れてもいいが、紙だと持ち歩いて町を探索できる」といった意見が出されました。

翌18日(日)は、希望する委員により巡見が行われました。この日は、普段は足ヶ瀬砂防ダムに水没して見ることができない足ヶ瀬橋梁跡が姿を現しており、貴重な姿を見ることができました。



▲岩手軽便鉄道の足ヶ瀬橋梁跡に残る橋台

部会の窓 第4回原始・古代・考古グループ会議を開催しました

7月27日(火)第4回原始・古代・考古グループ会議を開催しました。前回の会議では、資料編に掲載するおおまかな遺跡を決定し、執筆要領を定めました。今回は、最近発見された重要な遺跡を含めて資料編に掲載する遺跡と執筆者を確定し、あわせて掲載する市内遺跡一覧や遺跡地図についても協議を行いました。

今後は委員各自で執筆を進めるとともに、コラムや市内遺跡一覧の詳細について協議していく予定です。



▲会議の様子

編さん室日記

編さん室では、日夜市史編さんのための資料を探しています。「あそこの人が古文書を持っている」と聞けば訪ねて調査をさせてもらい、委員の方々からリクエストがあればその資料を探したり、代わって調査をしに行きます。

今抱えているリクエストの中で難関なのは「農事日誌」や「日記」「家計簿」の類。農事日誌は日々の農作業や栽培していた作物、手伝い等について記録したものです。これらは

非常にプライベートなものであり、その性質から表に出てくることは滅多にありません。また片づけの際に捨てられてしまうこともよくあります。先日も昭和から平成に至る貴重な農事日誌が処分されてしまったことを知り、委員のひとりが「一步遅かった…！」と嘆いていました。

どなたか、「農事日誌」「日記」「家計簿」を見せてくださる方、いらっしやいませんかー！？



写真でみる とおの今・昔



市史編さん室蔵

上の写真は、ドローンで撮影した令和3年春の遠野の町です。白い壁の市民センターが目立って見えますね。その手前の樹木があるあたりが大慈寺などの寺町です。

一方、下の写真は今から約112年前、明治42年(1909)頃の遠野の町を西側から写した写真で、大日本武徳会岩手支部遠野分会発会式記念の絵葉書として発行されたものです。向かって右側に鍋倉山、その中腹に明治22年(1889)に開山した智恩寺が見えます。中央の町場にはしる2本の通りは、一日市町と裏町(現在の仲町)です。

2枚を比べてみると、来内川の流路が変わっていたり、手前の農地が宅地化しているのがわかります。しかし、中心市街地の基本的な町割りは変わっておらず、江戸時代の都市計画を土台に現在の町が形成されています。

大日本武徳会は、明治28年に武道の奨励、国民の士気の振興などを目的として設立されました。武道の普及・発展に大きな役割を果たしましたが、戦後解散しました。



遠野市立博物館蔵



陸 中 遠 野 全 景

編集・発行 遠野市民センター市史編さん室

〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号(遠野市立図書館・博物館内)

TEL:0198-62-2340 FAX:0198-62-5758